



滋賀県 web サイト 滋賀の風景より

琵琶湖市民大学学習会

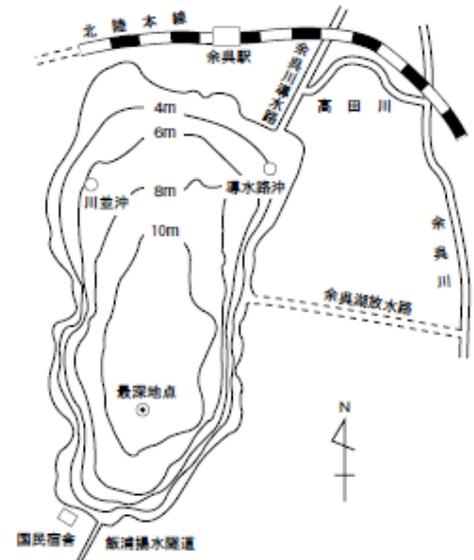
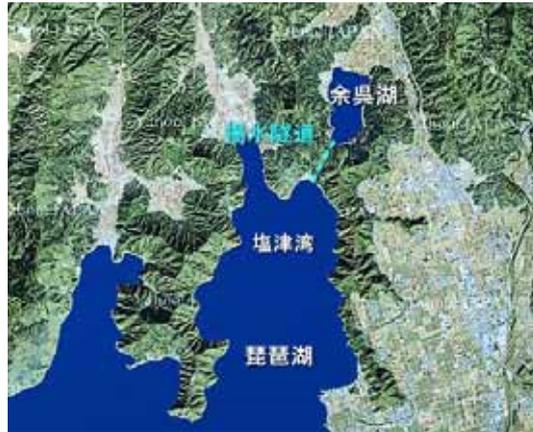
余呉湖の環境と漁業

はじめに

滋賀県北部の余呉町にある余呉湖は、古戦場として知られる賤ヶ岳によって琵琶湖と隔てられています。周囲 6.4km、最大水深 13.5m(平均 7.4m)という小さな湖で、「鏡湖」という別名があります。標高 133m と琵琶湖とは標高差が約 50m もあり、かつては周辺の溪流と、余呉川の伏流水が流入するのみの完全な閉鎖湖でした。1932 年には透明度が 8m という調査記録が残っています。

その余呉湖の環境が激変してゆきます。1960 年には灌漑と洪水対策のために余呉川からの導水路と放流水路が作られ、1976 年には灌漑用水として琵琶湖の水をポンプアップするトンネル(揚水隧道)が作られました(右図参照)。

余呉湖の水質は早くから富栄養化の進行が見られ、1977 年にはウログレナ・アメリカーナの淡水赤潮、1982 年にはミクロキスティスの大発生(アオコ)が確認され、それ以来、淡水赤潮やアオコの発生が頻発しています。1988 年には農業集落排水処理施設が設置されるなど、生活排水対策が進められています。



【学習会】

余呉湖の現在に目を向けると・・・湖底からの栄養塩類の溶出を抑制するためのエアレーション施設が設置されて、一定の効果が確認されています。また、ポンプアップする琵琶湖の水は、年によっては余呉湖の水を理論的には全部入れ替えてしまうほど大量です。このようなちょっと変わった特徴を持った余呉湖で、淡水赤潮やアオコの発生はどうなっているのでしょうか？余呉湖の水質の現状や発生するプランクトンの解説を聞きながら、余呉湖と琵琶湖の切っても切れない関係を学習します。

【学習会】

余呉湖はワカサギ釣りの場所としても有名です。余呉湖で行われている漁や養殖の取り組みについて、地元の漁師さんのお話を聞きます。余呉湖で取れた魚を食べながら、その種類や料理法について詳しく知りましょう。

【スケジュール】

2008年1月19日(土)

- 14:00 JR 余呉駅集合 民宿「みずうみ」へ移動
- 15:00～ 学習会 講師：辻村茂男さん(琵琶湖環境科学研究センター)
- 18:00～ 食事、交流会
- 19:00～ 学習会 講師：桐畑智訓さん(民宿「みずうみ」)

2008年1月20日(日)

- 8:00～9:00 朝食
- 10:00～12:00 フィールドワーク
 - ・余呉湖散策
 - ・養殖場などの見学
 - ・農業集落排水施設見学

【主催】 琵琶湖市民大学 <http://www.hyogokankyo-lab.com/biwako/>
神戸市灘区将軍通4丁目3-15-101 ひょうご環境科学研究所気付 TEL/FAX 078-801-7453

この学習会は、(財)リバーフロント整備センターの「川に学ぶ」活動助成、(財)河川環境管理財団の河川整備基金およびセブン・イレブンみどりの基金の助成を受けて実施します。

